

【所属名：環境生活課】

【会議名：第1回糸魚川市環境審議会】

会 議 録

作成日 平成25年11月18日

日	平成25年11月8日	時間	9:30 ~ 11:45	場所	本庁201・202会議室
件名	議題 環境基本計画P D C A進行管理表について (公開)				
出席者	【出席者】 10人 佐藤(芳)委員 鷺澤委員 田村委員 恩田委員 小林委員 山岸委員 小笠原委員 清水委員 小野委員 山本委員 【欠席者】 4人 磯貝委員、佐藤(晋)委員、杉野委員、吉田委員 【事務局】 吉岡部長、渡辺課長、中村課長補佐、高野係長、小熊主査、中田主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	0人

会議要旨

1	開会	進行 中村課長補佐
2	会長あいさつ	佐藤会長
3	報告	
	(1) 地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について	
	《事務局説明》	
	国は現在、中期目標をゼロベースで見直しており、国の新たな目標が示された段階であらためて提案する。	
	(2) 新エネルギービジョンについて	
	《事務局説明》	
	再生可能エネルギーの導入を促進するため、「新エネルギービジョン」を策定する予定としており、策定委託業務を発注した。準備ができ次第、審議会で説明する予定。	
4	議事	
	《主な質疑・意見》	
	・環境基本計画P D C A進行管理表について	
	▼自然環境	
	【委員】 田海ヶ池のトンボがあまりに少なくなったのに驚いた。外来種の生息状況やブラックバスの駆除には積極的に取り組んでいるが、トンボやヤゴの在来種の生息密度をどの程度調べているか。	
	【事務局】 捕獲したブラックバスを解剖してみるとトンボ・ヤゴなどの在来種を食い荒らしている実情がある。池を中心とした在来種の調査はしていない。琵琶湖博物館の中井先生のご協力のもと駆除活動をやっているが、目に見えた効果は出ていない。	

【委員】 効果を判断するにも、生息密度がどう変わるかを調べないといけない。一定面積の中でどの程度の生息状況があるのかの調査が必要。増えているのか減っているのかもつかめない。

【事務局】 科学的な分析は大事と思っている。市内の生態系の調査を科学的にしていく方向で努力はしたいが、どの程度の調査ができるかはわからない。
田海ヶ池だけでなく、市全体の農地が荒れているのも影響していると考えられる。

【委員】 不法投棄パトロールは、ほぼ毎日出ているようだが、実績はどうか。

【事務局】 臨時職員を雇っている。糸魚川地域を週に3回、残りは能生・青海地域というイメージ。回収可能なものは回収し、不可能であれば一度帰り対応する。
不法投棄が発生すれば警察等と連絡を取りながら厳しい対応をしていく。
夜間、青色回転灯を付けた車で職員が山間地を中心にパトロールもしている。

【委員】 効果は出ているか。

【事務局】 不法投棄は、調査を多くすると、今まで見つけられなかったようなごみを発見する場合も多く、調査回数の増加が回収量を増やすという事実もある。

【委員】 前回回収した場所に、再度投棄されることはないか。

【事務局】 それも考えられることから、そういう場所は重点的に回っている。

【委員】 パトカーが走ると周りの車のスピードが落ちるということもあるので、環境パトロールを警察などにお願ひし、月に何回か走ってもらえないか。

【事務局】 不法投棄されやすい場所があるので、重点的に巡回している。
不法投棄に特化して巡回というのは警察も回りづらいので、防犯を含めて定期的に回ってもらっている。

【事務局】 モラルの向上が大切。地域懇談会などで、こういう問題を話す中で、地域の人々の発言の中から問題を解決していこうと考えている。小さいうちからの意識付けが大切。

【委員】 ペレットストーブは、石油ファンヒーターと同じくらい取り扱いが簡単になり、薪ストーブと比べても煙が出ない、灰が残らないなどと聴いているので、普及はいいこと。

地元の森林間伐材を使って木質ペレット工場を作ったというのも効果的。

普及を図って行ってほしいが、助成制度の内容と、実績はどの程度か。どういう場所で普及しているか。体験談をPRすれば購入者も増える。

【事務局】 今現在28件の申請。価格は工事費を含め一般家庭なら30万円台。煙突の長さなどで工賃は変わる。

ほとんどが個人の申請。事業者からも申請がある。事務所は、日中長い時間の使用が見込まれることから、家庭で利用するよりは効果が高まる。

体験談は効果的なので、補助申請いただいた方からご意見をいただきたい。

【委員】 セミナーに参加したが、間取りや煙突の関係で、既存のお宅ではなかなか難しい。

新築・改築での設置となるが、住宅業者にもっとアピールしてほしい。

事務所などは効果的なので、事業所向けにセミナーをやるといえるのはどうか。

- 【事務局】 和室の畳では使いにくい。事務所もターゲットにし、補助事業を始めてみた。普及状況や、ご意見を参考に、新改築のときに自然に優しい暖房器具を使っていただけよう啓発したい。
- 【委員】 事務所は広さによって補助額を大きくしてはどうか。
- 【事務局】 財政状況もあるが、どの程度の申請があるかつかめず、とりあえず始めてみたので、状況を見ながら対応していきたい。
- 【委員】 密集地では難しいが、山間地では有効かもしれない。木々がたくさんあるところで何も火災等の心配はないか。
一般家庭では30万円は大きい。業者によって値段が違うが、どのように指導しているか。
- 【事務局】 基本的に煙が出るのは最初だけで、薪ストーブのように多くは出ない。高温で処理し、ススもほぼ出ないので、火事のリスクは低い。
現在申請あるものは、一番安いランクが多い。手動着火で、手間がかかる場合もあるが、50万円程度になるとスイッチだけで点火可能。使い勝手と値段との相談。
- 【委員】 他より安いと言って設置する業者もあるが、中間マージンが上がる傾向では困る。
- 【事務局】 申請状況を見ると、若干違いはあっても工事価格が明らかに高いものはない。
- 【委員】 煙突を付けると消防に関する検査はあるのか。
※規模が大きいものでない限り検査はない。(後刻報告)
- 【委員】 28件の申請は、普及していると感じた。灰を掃除機で処理するなど、使用者の意見を出せばいい。
- 【事務局】 普及啓発として、マイナス面をカバーできる利用者の意見を出して行きたい。
- 【委員】 トンボ・蛍がいないことは実感している。魚類も温暖化で変化している。
何十年も食べてきた「ミミタケ」も食べられなくなったが、今の状況は。
- 【事務局】 「スギヒラタケ」は健康であれば発症しないが、腎臓機能が弱っている方では問題がある場合がある。原因はきちんと分かっていない。食べてはいけないとは言えないが、そういう傾向にあると啓発している。
- 【委員】 糸魚川市ホームページなどに「セイタカアワダチソウ」駆除協力のお願いが出ているが、現在も多く繁茂している。
市民の駆除も大切だが、河川敷、高速道路、国道の土手などに多く見られるので、官公庁管理の土地でも駆除を進めないといけないが、現状はどうか。
- 【事務局】 ホームページやお知らせばんに掲載しているが、公的な敷地でも多く見られる。
文書で、道路公団、国交省、新潟県(道路・河川管理者)、当市(道路・河川管理者)に駆除を依頼している。
当市の管理地については、対応できていると感じているが、他ではすべてに対応いただけていない状況が続いているので、春の「オオキンケイギク」と同様にこれからも取り組んで行きたい。

【委員】 一時期より数も少なくなり、背丈も低くなっている気がするが。
【事務局】 詳しい方によると、7年くらいの周期で、大きなものから徐々に小さくなり、無くなったかと思うと他の場所で繁茂するという傾向にある。今年は非常に少なく感じられたかと思うが、そういう年回りのようだ。

【委員】 国交省の土手では花が繁茂している場所もある。ああいう花を植えておけば、「セイタカアワダチソウ」でないものが、綺麗に繁茂するのではないか。

【事務局】 別のものを植えるのも手だが、「セイタカアワダチソウ」は強靱な能力を持っていて、勝てるものは少ない。
植栽として、花を植える手もあるが、その花が在来種に与える影響なども考えながら進めないといけない。

【委員】 ジオツアーの開催回数や参加者は増えているのか。

【事務局】 ジオツアーは年々参加者が増えている。
ガイドも、検定合格者からいろいろな研修を受けていただき取り組んでいただいている。

▼生活環境

【委員】 ごみの有料化の話が載っているが、委員会で審議し、有料化の案を答申したが、市長の一言で取り止めとなった。市長とすり合わせのないまま会議をやっていたのではないか。

【事務局】 市長の指示の元、原案を示し審議をいただいた。市民の代表である議会の同意を得ることができなかった。

【委員】 現状を把握し、最後の手段として有料化を答申したが、議会の理解を得られなかったということ。今日の資料に載っているごみ減量との関係は。

【事務局】 有料化は効果があるが、その前にやるべきことがあるということから、減量化に取り組み、それでも減量が難しいなら有料化と考えている。

今後、有料化しかないと判断した場合は、再度検討することとしている。

減量化に向け、紙資源の分別など、可能な取り組みを住民にお願いしているが、生ごみ処理機器もそれと同様で、家庭ごみの削減を目指している。

【委員】 有料化の実施がなくなった時、あの論議はなんだったのかと思う。
悪く言えば、上手く言い含められている気がする。委員として出席した日当ももったいない。先にあるものに、沿った会議にしていけないといけない。
この会議も同様。

【委員】 山間地はもちろん、最近は住宅地でも空き家・空き地が増えてきている。市役所では個人情報の関係で連絡先を教えてもらえない。空き地管理者制度をつくり、地元で空き家・空き地を持ったら糸魚川市内に管理者を定めなくてはいけないという内容で登録するのもアイデア。

【事務局】 空き家で危険を伴う場合は、固定資産の情報などを基に市の方から所有者に文書を出している。

【事務局】 空き家適正化条例を設置した。土地の所有者を調べ、それに基づき指導したり、最終的には市が代執行をすることも可能。代執行なので、費用は土地所有者となるが、そこまでやるには専門家の判断が必要になる。

【委員】 時折帰省した人が、シルバー頼んで草刈りしても、2カ月もたてばひどくなる。市内に管理者を置けば、見て報告することもできる。金がないわけではなく、普段見えないから気にしていない。周りの人は金を出すわけにもいかず我慢しているだけ。

【事務局】 空き地の管理で、周囲にどの程度の迷惑がかかるのか難しい問題。社会情勢なども踏まえないと、法的な規制は住民の理解を得られず難しい。現在は、法によらず、説明したような方法で対応している。

【委員】 草刈り程度なら近所の物がしてもいいが、その連絡が取れる体制をとってほしい。勝手にやるわけには行けない。

【事務局】 個人情報に厳しい。市の職員でも固定資産情報を別目的で使うことはできないことを理解してほしい。

【委員】 このままでは、市が潤うような方向に向かわない。

【会長】 実効性がある方向で取組んで行ってほしい。

【委員】 市では水や土砂の放射能は検査し報告が出ている。魚や動物も放射能汚染情報が流れており、太平洋側のものがほとんどだが、川魚、猪、熊などにも放射能が含まれている。淡水魚は県内の魚野川などでも放射能が検出されている。長野県のワカサギなどでも情報がある。糸魚川では姫川が長野から来ているが、どのような形で測定をしているのか。

【事務局】 県が阿賀野川などで頻繁に調査している。姫川や、姫川沖の調査はしていない。野生獣は、猟友会等の提供があれば検査をしている。糸魚川市内でも高い数字ではないが放射性物質が検出される野生獣の肉もあり、広報・ホームページ等で公開している。十日町市方面で高い放射線量が確認された時点から、県内での肉の流通は止められている。

【会長】 情報をまとめて周知して行ってほしい。

【事務局】 糸魚川市で実施しているのは、空間線量測定と土壌調査で、これまで通常値。魚や肉などの食料の調査はしていない。

【委員】 魚場などで、小さな機械で一瞬に放射線量調査している映像をテレビで見た。

【事務局】 一瞬ということであれば、ベータ線の測定器かと思われるが、見てみないとわからない。生産者が安全保障のためにやっている。ベータ線測定器は市も保有している。(後刻報告)県の調査は、海川で1件あり、8/23に鮎の調査をして非検出。

▼地球環境

【質疑応答なし】

▼環境行動

【委員】 人材活用制度について、先進事例の情報収集と書いてあるが、具体的にはどのようなことか。

不法投棄ボランティアの数の目標値が、24年度実績56人に対し26年度100人と高くなっているが、どのような工夫で取組むか。

【事務局】 内部で検討しても難しいところもあるので、他市町村の事例を参考にしながらと考えている。人口の関係から、大きい市では人材となる方も多いが、小さいところでどのようにやっているのか検討したい。

目標値の設定は、これ以外の場所でも達成が難しい所もあるが、環境基本計画は10年計画を最初の5年で見直していくというものであり、目標を達成しているものは前倒して新たな目標を設定したもの。達成していないものはこれを達成するべく取り組みたい。

不法投棄ボランティア制度は、登録をしていただき、散歩などの日常生活の中で監視していただく制度。広報等で呼びかけているが、まだまだ少ない状態。今後も増えるよう取り組んでいきたい。

【委員】 省エネルギー関連では、各町内で持っている街灯のLED化の考えはないか。電気量は市が支出しているので、少しでも電気量が安くなる。

今現在の街灯設置費と、LED化の差額を補助するようなシステムにすれば推進できる。

【事務局】 街灯は地域で管理していただいている。蛍光灯に対しての助成は、LEDの方を大きくしているので、ご確認いただきたい。行政全体のバランスを考え補助率を設定している。

【委員】 山間地では街灯が少なく暗い。防犯の問題もあるが、地域の活性化という面でも明るい方がいいが、どこに要望すれば可能か。

【事務局】 市で調整をしているが、市の歳入も減り、合併による優遇も平成26年度で終わる。今と同じ状況では成り立たない。何を優先してお金を使っていくかということを考え、街灯についても論議しなければならない。

【委員】 ジオパークガイドの登録者が掲載されているが、実際の出動状況を把握しているか。

【事務局】 今、実数を持ち合っていない。定期観光バスの案内や、団体で来た時など申込があれば出動している。

【会長】 そういうデータもできる範囲で出してほしい。

【委員】 小学生用の副読本の作成に関わったが、実際にはいつから使われるか。

【事務局】 理科の副読本は、すでに配付させていただき活用している。

【委員】 国道渋滞は、本当に解消しているか。解消されたと記載の後に、目標数字が出ているが適切か。

【事務局】 目標に「改善」という記載もどうかと従前の物を残した。記載を「解消」と修正し

たい。現在、渋滞はない状態が続いている。

【委員】 太陽光発電の公共施設への導入は、何年くらいでの回収というような考えはあるのか。

【事務局】 パネルは 20 年程度の寿命。行政としては普及啓発の側面での設置なので、回収コストは算定していない。

【委員】 グリーンカーテン、今年は不作だった。種などの配付方法はどうだったか。また、配付時にはゴーヤの食べ方のパンフレットなども付けて配付すればいい。

【事務局】 昨年度は本庁社と両事務所で配付したが、今年度は苗の配付ということで、保管等の問題から「こまくさ」さんまで取りに来てもらったことから、苗の配付は糸魚川地域だけになってしまった。

今年度初めて、福祉施設との協働で取組んだが、諸課題もあるので、来年度以降発展した方向に進めたい。ゴーヤの作り方と食べ方というガイドブックは講習会時に配付した。

【委員】 朝顔やフウセンカヅラなど、リースにできるものもある。捨てないで、飾りつけなどに有効利用してほしい。

5 その他

【委員】 審議会の場で、記載されているような目標を決めて進めていくものだが、すでに 11 月になっており 25 年度も半年過ぎている。なぜ今日の開催か。春にやらなければ審議会の意味がない。

【事務局】 不手際があり申し訳ない。

【委員】 昨年も 9 月予定の会議が延び延びで連絡が来なかった。温暖化対策実行計画の議員説明などという話もあったがされていない。国の政策が変わったのも分かるが、委員にはこういう理由だと一報あるべき。そうでなければ審議会の意味がない。

【委員】 忙しいのは分かるが他の委員からも、そういう話もあった。もっと早い開催が必要。

【事務局】 計画的な実施になっていないこと、開催が遅れていること申し訳ない。また、日程に変更があれば、連絡をさせていただき対応をとらせていただく。

6 閉会 鷺澤副会長